

和光市協働事業実績報告書【平成26年度実施事業】

●事業概要

事業名	わこう郷土かるた（わこうっちかるた）作成事業
-----	------------------------

事業主体	事業実施団体	行政（担当課）
	和光市商工会青年部	生涯学習課

事業費	予算額	決算額
	812,052円	913,158円

事業内容 （実績）	【目的】 和光市の歴史・文化・自然などを盛り込んだ「かるた」を作成し、かるた遊びを通じて、地域の魅力をこれからの和光を担う子どもたちに伝え、郷土愛や地域への関心を高める。 【成果】 子どもや子育て世代の家庭における地域への関心が高まる。 【内容】 読み句、絵札の公募による郷土かるたの作成。 【詳細】 1. 市内の小学生を中心にかるたの読み句及び絵札を公募した。 読み句には309句、絵札には116点（未就学児1点、小学生64点、中学生6点、一般45点）の応募があった。 2. 応募された読み句及び絵札を選定し、担当課の監修の元、デザインを作成した。 選定委員8名（内訳：知識経験を有する者2名（郷土史研究家、かるたの専門家）、関係団体を代表する者2名（新倉小おやじの会会長、和光市商工会青年部 直前部長）、公募による委員2名、市役所職員2名（生涯学習課）） 3. かるたを300セット以上制作した。 4. 読み句及び絵札の採用者、市内小学校、児童館等にかるたを配布した。 5. ニッポン全国鍋グランプリ会場にて、かるたのお披露目、ミニかるた大会、原画展を開催した。 6. わこう郷土かるたの普及のため、「かるた大会」を開催した。
--------------	--

●事業結果

	当初	実績
事業 スケジュール	第1四半期： 読み句、絵札の公募チラシ・ ポスター作成、公募開始	第1四半期： 5月 読み句、絵札の公募チラシ・ポスター作成 読み句の公募開始（5/16） 選定委員の公募開始（5/16） 市内掲示板にて告知 6月 広報わこうにて告知（6/1） 読み句公募締切（6/20） 選定委員による読み句の選定（6/27）
	第2四半期： 8月末頃公募終了、9月頃選 定作業、監修作業	第2四半期： 7月 絵札の公募開始（7/1） 市内掲示板にて告知 市内小学校にチラシの全校配布 8月 広報わこうにて告知（8/1） 9月 絵札の公募締切（9/1）
	第3四半期： 制作期間、12月頃完成	第3四半期： 10月 選定委員による絵札の選定（10/7） 解説の作成（10/8） 生涯学習課による解説の監修（10/31） 11月 デザイン、印刷用データ作成 12月 印刷
	第4四半期： 1月頃配布、かるた大会を実 施	第4四半期： 1月 かるた大会選手募集開始（1/15） かるた完成、寄贈（1/23） かるたお披露目、原画展（1/24、1/25） 2月 かるた大会（2/15）

		・会場 中央公民館会議室 1 ・午前の部（小学校低学年）16 チーム（計 56 名）、午後の部（小学校高学年）12 チーム（計 40 名）、合計 28 チーム（計 96 名）参加。 ・当日スタッフのべ 16 名（内訳：青年部 9 名、ボランティア 7 名）
事業変更理由	当初、読み句と絵札は同時募集を予定していたが、先に読み句を募集し、それに合った絵札を募集という２段階に変更したため、当初予定より 1 ヶ月ほど遅れた。理由としては無駄になってしまう読み句や絵札が多くなるのではという意見が実行委員会内であがったためである。 また、予定に無かった原画展を開催した。理由としては、116 点もの応募があり、採用された 44 点以外がお蔵入りするのも勿体ないという意見が実行委員会内であがったため。	

●事業成果指標

		当初	実績
団 体	事業成果 指標	このかるたに取り組んだ事で、子どもや子育て世代の家庭における地域への関心が高まったかどうかをアンケートにて調査する予定。	かるたの原画展、かるた大会の会場にてアンケートを実施、「わこう郷土かるたを知る前後で、和光市に対する郷土愛は高まりましたか？」との問いに 86.9%の方が「高まった」と回答。
	コメント		
担 当 課	事業成果 指標	和光市の歴史・文化・自然などを盛り込んだかるたを作成。かるた遊びを通じて、地域の魅力を将来をになう子供たちに伝え、郷土愛や地域への関心を高めることを目的とする。	和光市への郷土愛の高まり、「かるたに描かれている場所に行ってみたくなった」、「和光市のイベントに参加してみたくなった」など興味を持ってもらえた。「来年も参加したい」、「楽しかった」などの回答があり、当初の目的は達成することができた。
	コメント	・予定よりかるた大会の開催が少し遅れた。 ・出来上がったかるたは、「いいね」と高評価を受けた。	

【ヒアリングより】

- ・かるた大会が好評であった中で、今後、毎年行う継続事業としていきたい。その際には市の協力をお願いしたい。
- ・かるた大会を開催するに際し、記者発表をお願いした結果、新聞などで取り上げられて好評を博した。

事業を実施し、想定以上の効果があったか。	団体	当初計画より非売品として300セット作成したが、購入したいという声が多く、市民からあがった。アンケートでは83.7%の方が「是非購入したい」「できれば購入したい」と回答している。 また、かるた大会用にレンタルしたいとの問い合わせもあり、想定以上の反響があったと思う。
	担当課	かるた大会開催時期が2月になったので、話題性が少し薄くなってしまったが、当日は大変盛り上がった。その後、もっと分けてほしいとの問合せが多数あり想定以上の反響であった。

●協働の結果

(1) プロセスの積み重ね

	団体	担当課
①事業進捗状況の報告を行っていましたか。	はい	はい
②問題が生じたときに、すぐに話し合えましたか。	はい	はい

(2) 事業の広がり

協働事業の実施により、新しいつながりや連携が構築された場合、その内容を具体的に下の左欄に記入し、このつながりや連携を今後の協働事業の展開にどのように活かそうと考えているかを右の欄にご記入ください。

団体	【具体的内容】 かるた大会実施の際の参考にすべく、郷土かるたで著名な「上毛かるた」の審判員育成講習会にも参加し、他の郷土かるた団体との交流、連携網を構築することができた。	【つながりや連携の活用】 商工会青年部は全国組織であり、和光市での成功事例をアピールすることで、各地で新たな郷土かるたを作成する動きが出てくると良いと思う。
担当課		

(3) 市民満足度の向上

	団体	担当課
事業の受益者の満足を得ることができましたか。	はい	はい

「はい」と答えた方は、受益者の満足度を調べるためにどのようなことをしたかを、下欄にご記入ください。

団体	かるたの原画展、かるた大会の会場にてアンケートを実施、「わこう郷土かるたを知る前後で、和光市に対する郷土愛は高まりましたか？」との問いに 86.9%の方が「高まった」と回答。「わこう郷土かるたを知ってどう思いましたか？」との問いに、「和光市について詳しく知りたくなった」「かるたに描かれた場所に行ってみたくなった」「和光市のイベント（お祭りなど）に参加してみたくなった」などの選択肢に多くの回答を頂いた。また「かるた大会」に参加した子ども達より、「来年も参加したい」「またやりたい」「たのしかった」などの声を頂いた。
担当課	かるたを配布した施設からは好評であった。

(4) 協働基本原則

「和光市協働指針」では、市民と市が協働を円滑に進めていくための以下の6つの基本原則を定め、これをお互いが理解し、常に協働基本原則に則って取り組んでいくこととしています。これらに則って事業に取り組めましたか。

	団体	担当課
①「相互理解の原則」	はい	はい
②「目的・評価共有の原則」	はい	はい
③「自立の原則」	はい	はい
④「対等の原則」	はい	はい
⑤「役割分担明確化の原則」	はい	はい
⑥「情報公開の原則」	はい	はい

役割分担について

	当初	実績
団 体	事業全般について 公募受付・問い合わせ対応 読み句、絵札の選定委員会の設置・運営 ポスター、チラシ作成 広報・周知 かるたのデザイン、印刷 かるた大会の実施運営	当初の通り実施できた。
担 当 課	読み句、絵札の公募にかかる小学校への協力要請 読み句、絵札の内容の監修 かるた大会の開催にかかる広報・周知 会場確保	読み句、絵札の公募にかかる小学校への協力要請（校長会での公募説明） 読み句、絵札の内容の監修 かるた大会の開催にかかる広報・周知（記者発表） 会場確保などのサポート

役割分担の中で良かった点や改善点をご記入ください。

団 体	絵札の公募について、小学校への協力要請を生涯学習課に依頼し、校長会でプレゼンテーションを行い、チラシの全校配布が出来たことは良かった。 「広報わこう」や市のホームページ上での告知は大変効果があったと思う。 読み句、絵札及び解説の内容監修においては、専門的な意見を頂けた。 かるた大会の会場確保については、当初予定の市民体育館での実施が困難だと分かると、代替施設の提案や確保をスムーズに実施して頂けた。
担 当 課	和光市商工会が役割分担に則して事業の企画運営全般について積極的に進めていただいた。当初予定していなかったことについても双方で協力して進めることができた。

協働事業の実施にあたり、どのようなメディアを活用して事業のPRをしましたか。その代表的事例を左欄に記入し、また、協働事業の実施により、事業の社会的認知度が向上したかどうかを、右の欄にその理由と併せてご記入ください。

団 体	【PR事例】 「広報わこう」による告知 市ホームページによる告知 市内掲示板による告知 市内小学校へのチラシ全校配布 商工会青年部ホームページによる告知 朝日新聞	【社会的認知度の向上】 商工会青年部単体で行う事業と比べ、協働事業の制度を活用し、市役所の広報リソースを幅広く使えたことは、市民を対象とした読み句や絵札の公募においては大変効果があったと思われる。
--------	--	--

和光新聞 すまいるエフエム J:COM 東京	市役所で行って頂いたプレスリリースのお陰で、多くのメディアが取材に来て頂き、かるた大会に参加出来なかった市民の方々にもPR出来たと思われる。
------------------------------	--

情報公開について、どのような手段で情報発信をしましたか。

担当課	かるた大会、読み句募集を広報・チラシ、かるた大会を広報・チラシで周知。
-----	-------------------------------------

(5) 協働の成果

協働することで、団体、市、市民それぞれにどのようなメリットがありましたか。

団体	【団体のメリット】 今まで和光市商工会青年部では行ったことの無い事業を多くの部員が協力して行うことによって、部員同士の結束が強くなった。 商工会青年部の存在を多くの市民に知って頂く機会ができた。
	【市のメリット】 市民の郷土愛の醸成、地域活動に関心を持つ市民が増加した。
	【市民のメリット】 市の歴史、文化、市民活動への関心を高めることが出来た。
担当課	【市のメリット】 商工会が積極的に活動してくれたこと、また両者が役割分担を明確にしたことにより滞りなく事業を完遂することができた。

事業を実施したことで、改善が必要だと思われること、思ったとおりできたことは何ですか。

団体	非売品のため、当初計画通り、インターネットでダウンロードできるようにしたが、想定以上に実物のかるたの購入希望者が多かったため、何らかの仕組みで購入できるようにすれば良かった。
担当課	担当課の年度事業スケジュールが決まっているところへ協働事業を入れ込むことになったので、協働事業の決定時期をもう少し早めて欲しい。

(6) その他

上記以外で、協働事業の成果として特にアピールしたいものがあれば、下の左の欄にご記入ください。また、それが今後の協働事業の発展にどのように貢献すると考えているか、右の欄にご記入ください。

団 体	【成果のアピール】	【事業の発展への貢献】
--------	-----------	-------------

協働事業を実施した率直な感想をご記入ください（良かった点、苦労した点、印象に残っていること、事務量的変化・協働に対する意識の変化等があったか等）。

担 当 課	1月に最初に記者発表をしたが殆ど反応がなかったため、その後再度記者発表をしたところプレスから反応もあり大変良かった。当初予定していたかるた大会の変更や記者発表原稿修正、かるた大会で使用するためのゴザか畳の借用相談など、予定外の依頼があったことにより、多くの業務が重なってしまった。
-------------	---